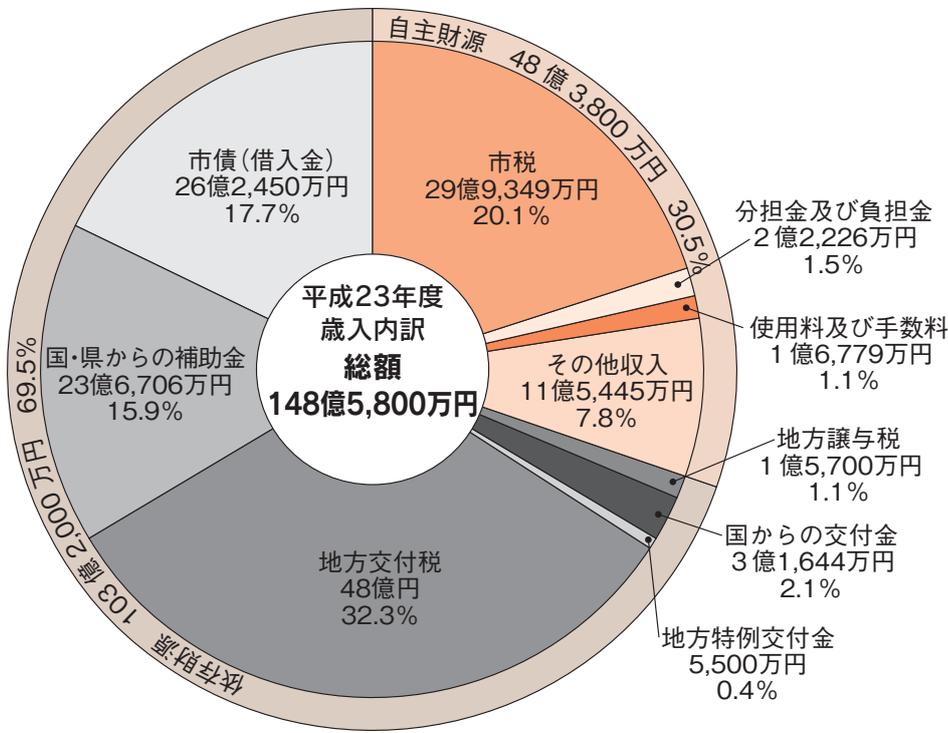


# 平成23年度 一般会計当初予算



平成23年度第2回定例議会が3月2日に召集され、会期27日間の日程にて開催されました。  
 23年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険事業特別会計予算など4つの特別会計予算、22年度補正予算、神埼市過疎地域自立支援特別事業基金条例の制定についてなど27議案が提案され、慎重な審議の結果可決されました。  
 神埼市出産祝券交付に関する条例の廃止については、各議員から賛否の意見が出ましたが、賛成多数で可決されました。  
 一般質問には、19名が6日間にわたり市政について質問しました。

## 項目の中身はどうなっているの？

今回は、歳入内訳の中から、「市税」と「市債」について解説します。

<市税 (29億9,349万2千円) の内訳>

項目	歳入予算	備考
市民税	12億7,510万円	住民税など
固定資産税	14億5,879万2千円	土地、建物、償却資産などに課せられる税
軽自動車税	7,900万円	市民が所有する軽自動車に課せられる税
市町村たばこ税	1億8,000万円	市内でのたばこ購入に課せられる税
入湯税	60万円	温泉利用に課せられる税 (いこいの家など)

<市債 (26億2,450万円) の内訳 (うち1億円以上のものを抜粋)>

項目	歳入予算	備考
臨時財政対策債	7億円	地方の財源不足を補てんするために特例的に認められた借入金 (国が後で補てんしてくれる。)
合併特例債		
・学校給食共同調理場建設事業	7億9,990万円	学校給食共同調理場建設事業費の一部(H24年度まで)
・防災行政無線整備事業	4億910万円	防災行政無線整備事業費の一部(H23年度まで)
・西郷保育園改築事業	2億5,540万円	西郷保育園の老朽化に伴う改築事業
・まちづくり基金積立	1億4,750万円	まちづくり事業のための積立金

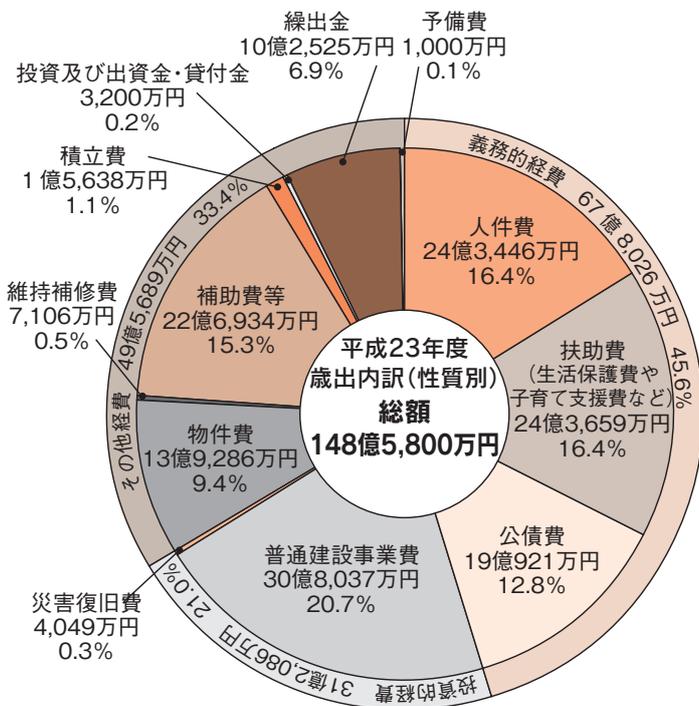
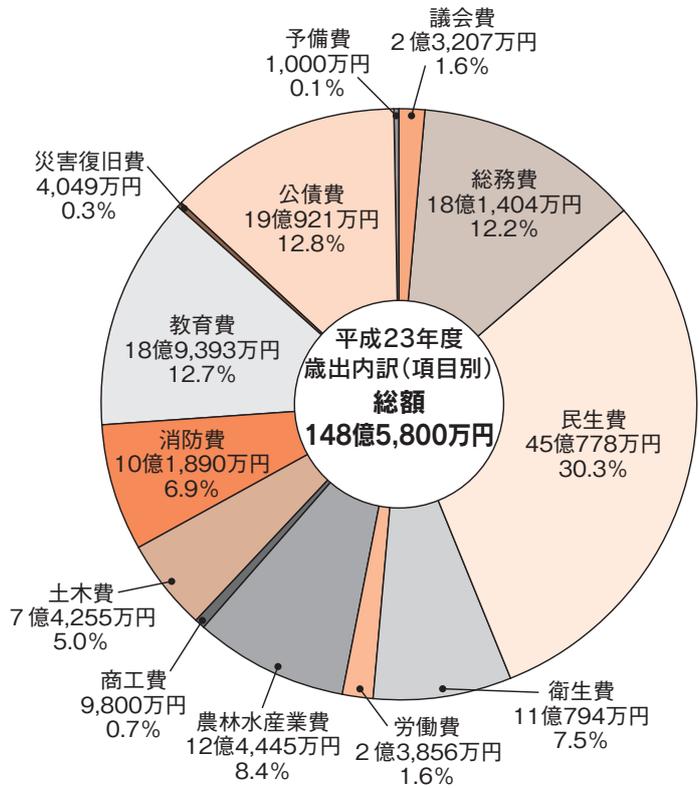
# 神崎市の台所事情を徹底究明！

**神崎市の貯金と借金**

市の財政状況を家庭の台所事情で例えますと、貯金や借金は次のようになっております。

平成22年3月末まで神崎市において自由に使うことが出来るお金である「財政調整基金」11億2,803万円をはじめ、14項目の基金、積立金が総額30億8,977万円あります。

次に、市の借金については、一般会計の借入金が平成23年3月末現在で157億3,120万円、公共下水道事業など特別会計を含む全体の借入金は、207億1,622万円となり、市民1人当たりの借金は、約62万2,400円となります。



**歳出内訳「項目別」と「性質別」について**

平成23年度一般会計予算の項目別内訳では、平成22年度に比べて「民生費」「消防費」「教育費」が大きく伸びております。

その主な理由は、西郷保育園改築事業、防災行政無線整備事業、学校給食共同調理場建設事業によるものです。

性質別内訳では、平成22年度比で「人件費」が微減、「補助費等」については、県営補助整備事業償還金の一括償還に伴い大幅減、「災害復旧費」が大幅減となっております。

また、「普通建設事業」は、西郷保育園改築・防災行政無線整備・学校給食共同調理場建設の3事業整備により増額となっております。

※見やすいように、金額を四捨五入して表記しています。そのため総額と合計額は合いません。

## 主な質疑・答弁

### 平成23年度一般会計予算（当初）について

#### 総務企画関係

**Q** CATV が整備されるにあたり、防災行政無線のあり方についてどのように事業内容の検討や見直しが行なわれたのか。

**A** 検証を行い、コスト削減ができるものは確実に行う。

**Q** 神埼ブランド創造「ひし焼酎」製造事業の目的と事業として成功する可能性があるのか。

**A** 市内クリークの菱を使って、地域の方の所得向上ができるように5～6年の中で努力する。

**Q** 総合行政システム機器類更新事業について、機器更新の度にデータ移行経費が発生するため、機器類のみの更新にするなどの経費節減のための検討は行なったのか。

**A** 機種類の更新最適化、経費コストの節減等踏まえて迅速性効率性の効果を考えて構築するようにしている。

**Q** 昔からの集落と新興住宅において地区を分離したいと申し出があった場合、どのように指導しているのか。

**A** 地区の折り合い等があり、うまく話し合いをして協議していきたい。

**Q** 東日本大震災の被災者を神崎市で受け入れる場合、借家等の費用はどこが負担するのか。

**A** 現在ところ不透明であり、他市の状況をみながら対応したい。



予算特別委員会の様子

**Q** 市で災害が起きた場合に備え、食料や毛布、燃料などは備蓄されているのか。

**A** 5年計画で物資（毛布・食料・水・簡易トイレ等）購入して備えようと準備している。

#### 市民福祉部関係

**Q** 東日本大震災の水害で住民基本台帳が消失したところもあり、神崎市においてもデータを分散して保管することを検討する必要があるのではないかと。

**A** 現在、データの保管方法については検討している。

**Q** 住宅リフォーム助成制度を創設することは考えられないのか。

**A** 歳出の余裕をどこまで見るのか、全体の予算バランスを考えた中で決断していく。

**Q** 生ごみ堆肥化等促進事業で市民モニターは何人か。また、どのような活動をして堆肥を活用する計画なのか。

**A** 市民モニターは30名募る予定。EM菌を用いて生ごみの減量化に取り組んでいく。

**Q** 西郷保育園改築事業費について、市内で生産される資材の市内調達について業者に相談は行ったのか。

**A** 地元で生産されるものは、是非使って貰いたいと業者に一言添えた。

下水道施設で脱水処理された汚泥



#### 産業建設部関係

**Q** 今後のため池の管理体制や管理基準について、地元と明確に打ち合わせはどのようになっているのか。

**A** 許容水位までしか溜めないということさせたい。

**Q** 老朽ため池整備事業について、今後災害が発生した場合は、市の負担で補修を行うのか。

**A** 市内 27 箇所のため池調査を行っているので、状況に応じて随時整備していく。

**Q** 土地改良モデル事業のモデル地区の選定は、地域的なバランスを見て、現場の状況も踏まえて判断するべきではないか。

**A** 今回は、昨年市民交流祭でレンコンを出していただいた集落を選定。

**Q** 道路橋梁維持費の古い橋梁の整備は、どのように対応しているのか。

**A** 平成 25 年度までに長寿命化計画を策定し、それに基づき適宜維持を行っていく。

**Q** 商工費のふるさと夏まつり事業補助金について、経済状況が厳しい中予算削減の検討はなされなかったのか。

**A** 庁内での分析は終わっているが、実行委員会はまだ開催されていない。

#### 教育委員会関係

**Q** 現在、不登校となっている生徒に対してはどのような対応がとられているのか。

**A** 不登校対策事業で、学習支援員が配置されている。

**Q** 小学校費の要保護・準要保護援助費の制度について、保護者に対しては早い時期に周知徹底を行って欲しい。

**A** 新 1 年生の説明会時の 2 月に、資料を渡して知らせている。

#### 平成 23 年度神崎市国民健康保険事業特別会計予算について

**Q** 一般会計からの繰入金のうち、国保税の引き下げのための繰入金はあるのか。

**A** 平成 23 年度当初は行っていない。

**Q** 保険給付金額は最終的にどの程度を見込んでいるのか。当初予算との不足分についてはどのように対処するのか。

**A** 平成 22 年度で 26 億 3,600 万円。補正の可能性は高いと思う。

#### 平成 23 年度神崎市下水道事業特別会計予算について

**Q** 合併処理浄化槽の汚泥抜き取りに立ち会ったことはあるのか。業者が法令に沿って作業を行っているのか確認をしているのか。

**A** 現在職員の立会いは行っていない。出来る限り立会いを実施したい。

**Q** 下水道の汚泥減容化施設で使用する燃料の選択について、どのように検討されたのか。

**A** 燃料は、灯油、重油、ガス、電気の 4 通りあり、設備費とライニングコストについて検討し、近々決定したい。